

世界健康安全保障イニシアティブ関連会議表

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2001年11月7日	第1回閣僚級会合	閣僚級	近藤厚生労働事務次官 他	カナダ	オタワ	世界健康安全保障イニシアティブ発足
2001年12月13日・14日	第1回局長級会合	局長級	今田技術総括審議官 他	カナダ	オタワ	
2002年3月13日	第2回局長級会合	局長級	今田技術総括審議官 他	イギリス	ロンドン	閣僚級会合と連続開催
2002年3月14日	第2回閣僚級会合	閣僚級	田村政務官 他	イギリス	ロンドン	・各国役割分担について検討 ・日本が化学イベントを担当することが決定
2002年10月3日・4日	第3回局長級会合	局長級	田中技術総括審議官 他	カナダ	オタワ	
2002年12月5日	第4回局長級会合	局長級	田中技術総括審議官 他	カナダ	オタワ	
2002年12月6日	第3回閣僚級会合	閣僚級	大塚厚生労働審議官 他	メキシコ	メキシコシティ	インフルエンザWGの設置を決定
2003年9月4日・5日	第5回局長級会合	局長級	田中技術総括審議官 他	カナダ	オタワ	
2003年9月8日	天然痘訓練 Exercise Global Mercury	incident scale WG small pox WG	中谷厚生科学課長 他			・カナダ主導による図上訓練 ・日本からは、厚生労働省に加えて宮城県・千葉県・仙台市、成田検疫所、東北厚生局も参加
2003年11月6日	第6回局長級会合	局長級	中谷厚生科学課長 他	ドイツ	ベルリン	閣僚級会合と連続開催

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2003年11月7日	第4回閣僚級会合	閣僚級	大塚厚生労働事務次官 他	ドイツ	ベルリン	・リスク管理及び調整WGの設置を決定 ・専門分野として、核・放射線源によるテロ対策、 実地疫学調査、研究協力を設置
2004年6月10日・11日	第7回局長級会合	局長級	藤崎参事官 他	カナダ	オタワ	
2004年11月4日・5日	核・放射線テロ専門家会合	核・放射線	近藤専門官(厚生科学課)	フランス	パリ	
2004年12月7日	リスク管理及び調整WG会合	リスク管理及び調整	近藤専門官(厚生科学課)	フランス	パリ	閣僚級会合と連続開催
2004年12月9日	第8回局長級会合	局長級	松谷技術総括審議官 他	フランス	パリ	閣僚級会合と連続開催
2004年12月10日	第5回閣僚級会合	閣僚級	西副大臣 他	フランス	パリ	・専門分野として対応能力強化を設立 ・主な議題は新型インフルエンザ対策
2005年3月15日ー17日	化学イベントWG会合	化学イベント	中谷企画調整官(国衛研)	スイス	ジュネーブ	WHOとの共催
2005年5月18日ー20日	化学イベントWG会合	化学イベント	中谷運営局長(がんセンター)	ドイツ	ボン	
2005年5月18日・19日	ラボネット会合	ラボネット	倉根先生(感染研)	アメリカ	ワシントン	
2005年5月31日ー6月3日	リスク管理及び調整WG会合 パンデミックインフルエンザWG会合	リスク管理及び調整 パンデミックインフルエンザ	大日先生(感染研)	イギリス	ロンドン	パンデミックインフルエンザ机上訓練を実施

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2005年6月6日―9日	ラボネット会合	ラボネット	今岡先生、高橋先生(感染研)	イギリス	ポートダウン	
2005年6月9日・10日	第9回局長級会合	局長級	瀬上参事官 他	カナダ	オタワ	
2005年9月9日	リスク管理及び調整WG会合	リスク管理及び調整	奥村先生(順天堂大学)	イギリス	ロンドン	
2005年9月12日―14日	パンデミックインフルエンザWG会合	パンデミックインフルエンザ	金成専門官(結核感染症課) 谷口先生(感染研)	メキシコ	メキシコシティ	・各国行動計画の比較 ・オーストラリア・オランダもオブザーバーとして参加
2005年10月4日・5日	化学イベントWG会合	化学イベント	三宅企画調整主幹(感染研) 他	日本	東京	優先化学剤群を選定するためのマトリックス作成
2005年11月14日・15日	ラボネット会合	ラボネット	杉山先生(感染研)	イタリア	ローマ	閣僚級会合と連続開催
2005年11月17日	第10回局長級会合	局長級	外口技術総括審議官 他	イタリア	ローマ	閣僚級会合と連続開催
2005年11月18日	第6回閣僚級会合	閣僚級	西川政務官 他	イタリア	ローマ	主な議題は新型インフルエンザ対策、改正IHRへの対応等
2006年5月2日―4日	リスクコミュニケーションWS	リスク管理及び調整	岡部先生(感染研)	ドイツ	ベルリン	セシウム137、ボツリヌス毒素を用いたテロを想定した机上訓練を実施
2006年6月7日―8日	ラボネット会合	ラボネット	森川先生(感染研)	カナダ	オタワ	局長級会合と連続開催

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2006年6月7日―8日	リスク管理及び調整WG	リスク管理及び調整	三宅企画調整主幹(感染研) 他	カナダ	オタワ	局長級会合と連続開催
2006年6月9日	第11回局長級会合	局長級	安達厚生科学課長 他	カナダ	オタワ	・リスク管理及び調整WGの名称をリスク管理及びコミュニケーションWGに変更 ・ドナー調整の議論はGHSAGの場では行わないとの結論
2006年6月19日・20日	核・放射線テロ専門家会合	核・放射線	明石先生(放医研)	フランス	パリ	・セシウム137のメトロ内散布を想定した机上訓練を実施 ・高線量被ばく患者の治療について議論
2006年7月5日・6日	化学イベントWG会合	化学イベント	三宅企画調整主幹(感染研) 近藤先生(日本医大)	スイス	ジュネーブ	窒息剤への各国の対応状況比較
2006年10月19日―21日	パンデミックインフルエンザWG会合	パンデミックインフルエンザ	中嶋国際協力室長、森兼先生(感染研)	カナダ	オタワ	・ワクチン開発の現状と課題について議論 ・WHOのGlobal Pandemic Influenza Vaccine Action Planについても議論
2006年10月25日・26日	公衆衛生的対策についてのWS	パンデミックインフルエンザ	不参加	アメリカ		Institute of Medicineが中心となり、集会の禁止、休校、交通機関の制限といった公衆衛生的対策について議論
2006年10月30日・11月1日	Risk Communicator's Network 第1回会合	パンデミックインフルエンザ リスク管理及びコミュニケーション	森書記官(在米日本大使館)	アメリカ	ワシントンDC	パンデミックインフルエンザ等の問題についてのリスコミの観点からの取組の必要性を確認
2006年11月9日・10日	研究協力WS	研究協力	中嶋国際協力室長(感染研)	ベルギー	ブリュッセル	健康安全保障政策に資する研究について議論
2006年12月6日	第12回局長級会合	局長級	西山技術総括審議官 他	日本	東京	閣僚級会合と連続開催
2006年12月7日	第7回閣僚級会合	閣僚級	柳澤厚生労働省大臣 他	日本	東京	主な議題は新型インフルエンザ対策、ポロニウム210事案等

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2007年1月31日・2月1日	ボツリヌス毒素WS	ラボネット	高橋先生(感染研)	ドイツ	ベルリン	検出法、抗毒素の需給、テロシナリオ等について議論
2007年2月27日	Risk Communicators' Network 第2回会合	インフルエンザパンデミック リスク管理及びコミュニケーション	谷口先生、安井先生(感染研)	カナダ	モントリオール	ネットワークの位置づけ及び2007年の行動計画について議論
2007年3月13日	Forensic Epidemiology WS	リスク管理及びコミュニケーション	谷口先生、福士先生(感染研)	イギリス	ロンドン	・G8サミットの枠組みで開催 ・捜査当局と保健医療、外交担当機関との連携が必要との結論
2007年3月27日	ボロニウム210イベントに関するWS	リスク管理及びコミュニケーション	明石先生(放医研)	イギリス	ロンドン	公衆衛生的リスクの評価、一般国民への情報提供等について議論
2007年4月26日	電子顕微鏡ワークショップ	ラボネット	長谷川先生、永田先生(感染研)	ドイツ	ベルリン	実際の検体を用いたサンプル準備、電子顕微鏡による観察等の実習を実施(日本は100%の正答率)
2007年5月2日	Risk Communicators' Network 第3回会合	パンデミックインフルエンザ リスク管理及びコミュニケーション	平山主査(結核感染症課) 神垣先生(東北大)	フランス	パリ	関係級のハイレベルメッセージ作成や、各国のリスクコミ計画比較アンケート等について議論
2007年5月23日	ラボネット会合	ラボネット	倉根先生(感染研)	イタリア	ローマ	23日はisolation technique についてのWS
2007年6月12・13日	爆発剤による創傷に関するWS	リスク管理及びコミュニケーション	井上先生(災害医療センター) 布施先生(日本医大)	イギリス	ロンドン	
2007年6月19日	リスク管理及びコミュニケーション WG会合	リスク管理及びコミュニケーション	谷口先生(感染研) 入江主査(厚生科学課)	カナダ	オタワ	局長級会合と連続開催
2007年6月22日	第13回局長級会合	局長級	藤井課長、入江主査(厚生科学課) 田代先生、谷口先生(感染研) 奥村先生(佐賀大学)	カナダ	オタワ	

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2007年7月9日	パンデミックインフルエンザWG会合	パンデミックインフルエンザ	田代先生(感染研) 森主査(結核感染症課)	イギリス	ロンドン	EUにおけるWS(10-11日)と連続開催
2007年9月18・19日	ハリケーンカトリナの教訓に関するWS	リスク管理及びコミュニケーション	奥村先生(佐賀大学)	アメリカ	ワシントンDC	
2007年9月20・21日	Infection Control Sub-Working Group 会合	パンデミックインフルエンザ	森兼先生(感染研)	カナダ	トロント	
2007年9月24日・25日	サーベイランスに関するワークショップ	リスク管理及びコミュニケーション	谷口先生(感染研) 牧野主査(厚生科学課)他	日本	京都	IHR2005への対応も含め各国のearly warning systemについて比較
2007年10月9-11日	化学イベントWG会合	化学イベント	近藤先生(日本医大) 奥村先生(佐賀大学) 黒木先生(中毒情報センター)他	日本	東京	10日、災害医療センターにおいてDMAT研修見学
2007年10月10~12日	Risk Communicators' Network 第4回会合	リスク管理及びコミュニケーション	平山専門官(結核感染症課)	メキシコ	メキシコシティ	パンデミックインフルエンザ発生時のコアメッセージ作成
2007年10月29日・30日	リスク管理及びコミュニケーションWG会合	リスク管理及びコミュニケーション	谷口先生(感染研) 牧野主査(厚生科学課)	アメリカ	ベセスダ	局長級・関係級会合と連続開催
2007年10月29日・30日	ラボネット会合	ラボネット	倉根先生(感染研)	アメリカ	ベセスダ	局長級・関係級会合と連続開催
2007年10月29日・30日	化学イベントWG会合	化学イベント	奥村先生(佐賀大学)	アメリカ	ベセスダ	局長級・関係級会合と連続開催
2007年10月29日・30日	核・放射線テロWG会合	核・放射線	栗原先生(放医研)	アメリカ	ベセスダ	局長級・関係級会合と連続開催

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2007年10月31日	パンデミックインフルエンザWG会合	パンデミックインフルエンザ	田代先生(感染研) 牧野主査(厚生科学課)	アメリカ	ベセスダ	局長級・関係級会合と連続開催
2007年11月1日	第14回局長級会合	局長級	上田技術総括審議官 他	アメリカ	ベセスダ	関係級会合と連続開催
2007年11月2日	第8回関係級会合	関係級	松浪健太大臣政務官 他	アメリカ	ベセスダ	
2007年11月5～7日	リシンワークショップ	ラボネット	瀬戸先生(科警研)	ドイツ	ベルリン	
2008年2月26～28日	早期検知システムに関する専門家会合	リスク管理及びコミュニケーション	Collier先生(情報研) 重松先生(感染研) 牧野主査(厚生科学課)	ルクセンブルク	ルクセンブルク	
2008年5月1・2日	パンデミック発生時における国境、在外邦人、外国人の問題に関する会合	リスク管理及びコミュニケーション、 パンデミックインフルエンザ合同開催	牧野主査(厚生科学課) 岡係員(結核感染症課)	アメリカ	ワシントンDC	
2008年5月6・7日	リスクコミュニケーションのベストプラクティスに関するワークショップ	リスク管理及びコミュニケーション	谷口先生(感染研) 松井先生(感染研)	ドイツ	ベルリン	
2008年5月8・9日	リスク管理及びコミュニケーションWG会合	リスク管理及びコミュニケーション	谷口先生(感染研)	ドイツ	ベルリン	
2008年5月8・9日	Risk Communicators' Network 第5回会合	リスク管理及びコミュニケーション	松井先生(感染研)	ドイツ	ベルリン	
2008年5月22・23日	毒性産業化学物質に関するWS	化学イベント	奥村先生(佐賀大学) 黒木先生(中毒情報センター)	イギリス	マンチェスター	

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2008年5月29・30日	ラボネット会合	ラボネット	森川先生(感染研)	メキシコ	メキシコシティ	
2008年6月4日	第15回局長級会合準備会合	議長グループ、タスクフォース、 リスク管理及びコミュニケーション	近藤先生(日本医大) 牧野主査(厚生科学課)	カナダ	オタワ	局長級会合と連続開催
2008年6月5・6日	第15回局長級会合	局長級	矢島厚生科学課長 牧野主査(厚生科学課) 近藤先生(日本医大)	カナダ	オタワ	
2008年7月15～17日	リスクコミュニケーター会合	リスク管理及びコミュニケーション	牧野主査(厚生科学課)	メキシコ	メキシコシティ	
2008年9月18～19日	早期検知システムプロジェクト会合	リスク管理及びコミュニケーション	重松先生(感染研)	イタリア	イスブラ	
2008年9月23～26日	医療対処に関するWS	リスク管理及びコミュニケーション、 及び各WGの共同開催	横手先生(化血研) 齋藤先生(慶應大学) 奥村先生(佐賀大学) 牧野調整官(厚生科学課)	アメリカ	ワシントンDC	
2008年10月20～25日	出血熱WS(20～22) 移動式ラボWS(23～24)	ラボネット		カナダ	ウィニペグ	
2008年10月14～15日	リシンワークショップ	リスク管理及びコミュニケーション	奥村先生(佐賀大学) 齋藤先生(慶應大学)	フランス	パリ	
2008年10月14～17日	パンデミック発生時の医薬品の使用と コミュニケーションに関する会合	パンデミックインフルエンザ、 リスク管理及びコミュニケーション	辻井補佐(結核感染症課) 牧野調整官(厚生科学課)	アメリカ	ワシントンDC	
2008年11月6～7日	GHSAG優先的課題に関する臨時会合	局長級	谷口技総審 牧野調整官(厚生科学課)	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ビデオ会議にて参加

開催時期	会議名	関連WG名	出席者	開催場所		特記事項
				国名	都市名	
2008年12月1～2日	ラボネット会合	ラボネット	倉根先生(感染研)	ベルギー	ブラッセル	
2008年12月2日	化学イベントWG会合	化学イベント	近藤先生(日本医大)	ベルギー	ブラッセル	
2008年12月1～2日	核・放射線テロWG会合	核・放射線	山田先生(放医研)	ベルギー	ブラッセル	
2008年12月2日	リスク管理及びコミュニケーションWG会合	リスク管理及びコミュニケーション	牧野調整官(厚生科学課)	ベルギー	ブラッセル	
2008年12月4日	第16回局長級会合	局長級	谷口技総審 他	ベルギー	ブラッセル	
2008年12月5日	第9回関係級会合	関係級	小田野大使 谷口技総審 他	ベルギー	ブラッセル	